

台湾華語

—「おはよう」は“早上好”にあらず—

講師 張佩茹氏（東北大学文学研究科准教授）

9/11 (土)

14:00~15:30

立命館大学衣笠キャンパス
平井嘉一郎記念図書館
カンファレンスルーム
& オンラインライブ配信

参加無料
要事前予約



詳細・お申込みはこちら



台湾華語とは、台湾で共通語として使われる言葉を指します。台湾華語は中国大陸の普通話と同系統であるため、基本的に互いに意思疎通ができますが、発音や語彙、文法などにおいて違いが見られます。例えば、発音に関しては、台湾華語のほうは巻舌音がはっきりしない、また、単語の最後に舌をそり曲げる「アル化」が見られないといった特徴があります。この講座では、それらの違いを紹介し、台湾華語のことを知ってもらいたいと思います。このような違いが生まれた背景には歴史的な経緯がありますが、近年は交流が盛んになったことにより、特に語彙面では互いに影響を与えている点についても触れます。全体を通して、台湾華語を一つの例として、言葉の規範性と多様性について話していきます。

お問合せ先：立命館孔子学院

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学アカデミア立命21内 TEL：075-465-8426 FAX：075-465-8429
Mail：koza@st.ritsumeikan.ac.jp http://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/